Tmark をご利用いただき、まことにありがとうございます。

Tmark の取扱説明書になります。

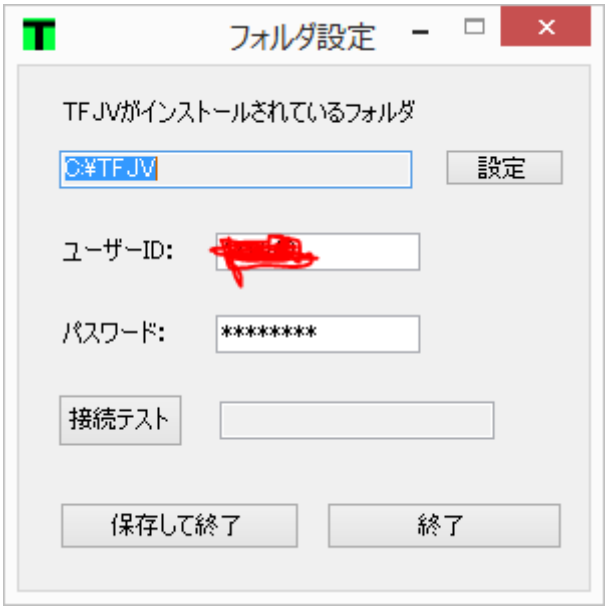
もし分からない点が出てきましたら、作成者(Twitter アカウント:@283chocolat)に

申し出るか、JRDB の掲示板に書き込みにてお知らせ願います。

起動すると、次のような画面が出てきます。

まずはじめに、「フォルダ設定」「印設定」を行なっていただきます。

「フォルダ設定」ボタンを押していただくと、下記の画面が立ち上がります。



まず「TargetFrontierJV がインストールされているフォルダ」を設定ボタンで

指定します。通常インストールされている場合は、「C:¥TFJV」になります。

TFJV.exe というファイルがあるところです。

つぎに、「JRDB のユーザーID」「パスワード」を設定してください。

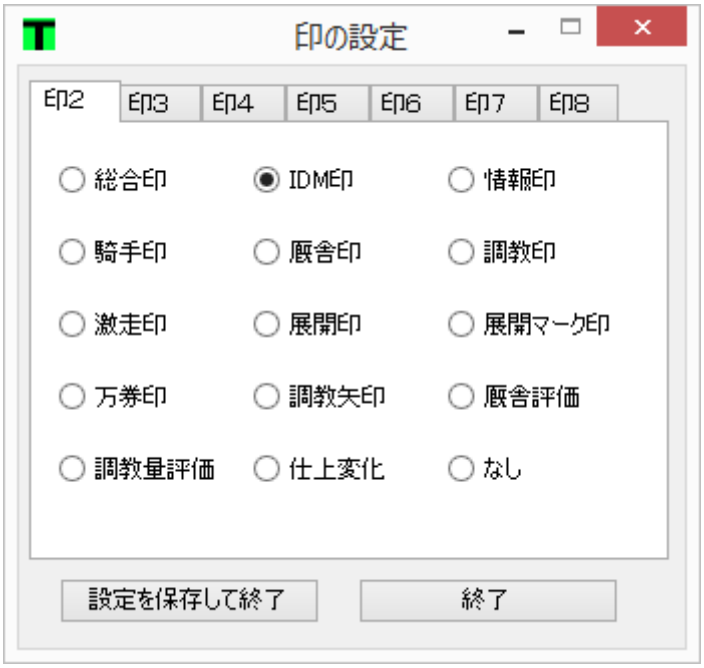
そして、正しければ「接続テスト」ボタンを押すと、「接続成功！」という

メッセージが出ます。

そこで、設定が完了します。必ず「保存して終了」ボタンを押して終了してください。

つづいて、「印設定」にうつります。

メイン画面から、「印設定」ボタンを押すと、下記の画面が立ち上がります。



次のような画面が立ち上がります。ここでは例えば Target の印２に、JRDB のどの印を

出力したいのかを設定します（上の画面では IDM 印になっております)。

全部で１４種類に対応しております。

印２は自分で既に使っているので、何も出力させたくない場合は「なし」を

選択してください。

以下、同様にして、印３～印８までを設定します。(タブ切り替え)

設定が完了しましたら、こちらも「設定を保存して終了」ボタンにて終了願います。

あとは T#と同じです。「日付取得」ボタンにて日付を取得します。

出力させたい期間の日付を選択して、「印を取得」ボタンを押します。

「処理が終了しました」メッセージで完了です。印が Target に反映されます。